

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成24年2月2日 (2012.2.2)

【公開番号】特開2011-219159(P2011-219159A)
 【公開日】平成23年11月4日 (2011.11.4)
 【年通号数】公開・登録公報2011-044
 【出願番号】特願2010-93566(P2010-93566)
 【国際特許分類】

B 6 5 B 9/10 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 9/10

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月13日 (2011.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

製袋手段(10)で筒状に成形された筒状フィルム(F)に縦シールを施し、筒状フィルム(F)中に所定間隔毎に供給された各物品(W)の間を横シール手段(26)で横シールを施す横形製袋充填機において、

前記製袋手段(10)から横シール手段(26)までの間において前記筒状フィルム(F)の搬送方向に向けた所定範囲で該筒状フィルム(F)中の物品(W)を上方から支持して搬送する押さえ部材(60)を配設した無端索体(58)を備え、

前記押さえ部材(60)は、引裂き強さが 30 N / mm 以上のシリコンゴムの成型品であって、幅方向に複数の歯(64b)が並ぶ櫛歯部(64)を、無端索体(58)の外側に突出形成すると共に、該櫛歯部(64)を傾斜姿勢で無端索体(58)の走行方向に所定間隔毎に配設したことを特徴とする横形製袋充填機の物品押さえ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

前記課題を克服し、所期の目的を達成するため、請求項 1 の発明に係る横形製袋充填機の物品押さえ装置は、

製袋手段で筒状に成形された筒状フィルムに縦シールを施し、筒状フィルム中に所定間隔毎に供給された各物品の間を横シール手段で横シールを施す横形製袋充填機において、

前記製袋手段から横シール手段までの間において前記筒状フィルムの搬送方向に向けた所定範囲で該筒状フィルム中の物品を上方から支持して搬送する押さえ部材を配設した無端索体を備え、

前記押さえ部材は、引裂き強さが 30 N / mm 以上のシリコンゴムの成型品であって、幅方向に複数の歯が並ぶ櫛歯部を、無端索体の外側に突出形成すると共に、該櫛歯部を傾斜姿勢で無端索体の走行方向に所定間隔毎に配設したことを特徴とする。